

指定管理者評価シート

事業名	公園管理費	所管課(電話番号)	手稲区土木部維持管理課(681-4011)
-----	-------	-----------	-----------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	①前田森林公園 ②山口緑地 ③星置公園 ④明日風公園	所在地	①手稲区手稲前田591外 ②手稲区手稲山口582外 ③手稲区星置2条1丁目 ④手稲区明日風2丁目
開設時期	①昭和62年8月1日 ②平成11年3月31日 ③平成1年3月31日 ④平成22年3月31日	面積	①597,258㎡ ②444,280㎡ ③61,800㎡ ④47,569㎡
目的	都市公園の健全な発達を図り、もつて公共の福祉の増進に資すること。		
事業概要	上記公園の維持管理及び運営(園内の維持管理、管理事務、園内の安全確保に関する業務)		
主要施設	①カナル、壁泉、展望ラウンジ、野球場、球技場、パークゴルフ場他 ②パークゴルフ場(72ホール)、駐車場(380台、身障者9台)、クラブハウス、管理棟 ③テニスコート、野球場 ④テニスコート、パークゴルフ場、徒渉池		
2 指定管理者			
名称	公園緑化協会・ていねグリーンコンソーシアム((公財)札幌市公園緑化協会、(株)スペース・デザイン工業、マルミプラス(株)、(株)横山造園)		
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日		
募集方法	公募 非公募の場合、その理由		
指定単位	施設数: 4 複数施設を一括指定の場合、その理由: ①公園管理事務所を有しない公園と有する公園をグループ化し、公園管理上の支障をなくす。②公園管理上の経費及び効率化(環境負荷の低減等)の面から、比較的近接している公園をグループ化した。		
業務の範囲	公園維持管理業務、有料公園施設(野球場、球技場、テニスコート、パークゴルフ場)運営(利用料金制度)、緑化普及啓発業務		
3 評価単位			
	施設数: 4 複数施設を一括評価の場合、その理由: 同一の指定管理者で維持管理しているため。		

II 令和3年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価							
1 業務の要求水準達成度										
(1)統括管理業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定 前田森林公園、山口緑地、星置公園、明日風公園においては、以下の基本方針に基づき管理運営にあたった。 【1】 平等・公平な利用の機会を確保し、公共の福祉増進の場としての利用効果を高める。 【2】 関係法令・条例等を遵守し、利用者や市民の声の反映に努め、開かれた管理運営による、安全で安心、快適な利用環境を提供する。 【3】 資源・施設の長寿命化を念頭に置き、効率的な管理運営による経費削減を図り、安定した質の高いサービスを提供する。 【4】 コミュニティ活動の拠点の一つと位置づけ、市民や関係諸機関との連携を強化し、資源の積極的な活用を図り、活動の場としての魅力を高める。	平等・公平な利用に関するスタッフ教育を行い、利用者対応にスタッフ間格差がでないよう、適宜情報共有に努めた。 関係法令・条例の遵守のため、不法行為、迷惑行為等への巡回や注意看板の増設やコロナ対策の徹底に努めたほか、利用者満足度向上のためのアンケートを実施して、受けた苦情や要望には可能な限り迅速に対応するよう努め、快適で安心安全な利用環境の維持管理に取り組んだ。 資源・施設の長寿命化のため、法定点検以外にも定期点検を行い、直営で対応できる修繕を積極的に行った。 コロナ禍により当公園を拠点とするボランティア活動団体の活動機会の減少を余儀なくされたが、園内自然素材を利用した工作体験と自然観察会を定期的に共催で開催した。またカナルの清掃ボランティア等の公園ボランティアも参加者が増加傾向にあり、市民活動の場の定着、市民協働の推進を図ることができた。	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table>	A	B	C	D	基本方針に基づき適切に管理されている。		
A	B	C	D							

【5】子どもをはじめとする来園者が、豊かな自然にあふれ、自由な発想で遊ぶことのできる公園環境を提供する。

公園内での自然散策をより楽しんでいただけるよう、園内の植物や野鳥等の情報をパネルで掲示したり、管理事務所窓口でリーフレット等の印刷物を配布して、自然知識を深める機会づくりをした。

【6】地域の健康づくり・運動拠点としての価値を向上させ、公園の利活用促進につなげる。

ウォーキングマップとウォークラリーカードを継続して作成・無料配布し、公園利用者の健康づくりやスタッフとのコミュニケーションツールとなっている。

有料運動施設とパークゴルフ場はコロナの影響で3度の閉鎖期間があったが、開放期間中は感染防止対策を徹底してご利用いただいた。

冬期にはクロスカントリースキーコースを設置し、冬の健康増進の場として多く利用者があった。

【7】公園の特徴的な景観を重視した管理をし、地域の魅力としてアピールする。

カナールとポプラ並木、多種多様な花木類等の特徴的な景観を維持管理して情報発信をし、テレビや動画のロケ地、写真撮影地として多くの利用があった。

【8】地域の防災拠点として、災害に対する万全の備えを進め、また防犯の視点から日常の管理を強化する。

年2回の消防訓練の実施や普通応急手当講習をはじめとしたスタッフ研修を行ったほか、非常事態発生時の指揮命令系統を明確にして緊急対応に備えている。

▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績

▼ 平等利用に係る方針

信条、性別、社会的身分、年齢等により、合理的な理由なく利用を制限する等により平等利用が妨げられることのないよう、すべての利用者に対して公正中立な対応をすべく、全スタッフへの教育を徹底する。特に配慮が必要な障がい者に対しては、不当な差別的取扱いをしないよう、真摯な対応で「困りごと」の解消に努める。

▼ 平等利用の取組状況と実績

・スタッフ採用時に、平等利用について研修を実施した。
・公園内掲示物は、札幌市の「広報に関する色のガイドライン」を参考に「見やすい・読みやすい」案内看板の作成を行った。
・新型コロナウイルス感染拡大防止対策の情報更新に合わせ、迅速かつ広範囲な情報発信のため、公式ホームページとTwitterを利用した。
・ホームページは、ウェブアクセシビリティ試験によるレベルAA準拠に努め、試験結果をホームページ内に掲載している。
・利用者への注意指導として巡回指導と看板掲示(有料施設の不正使用、火気使用行為の禁止、野生動物への餌付け行為、犬の放し飼いや糞の不始末、ゴミの不法投棄、ボール遊びマナー等)を継続して行った。

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

HES(北海道環境マネジメントシステムスタンダード)の認証を受けて構築しているEMSに基づき、地球温暖化対策環境配慮の推進に努めた。

▼ 地球温暖化対策

CO2発生の抑制として、公園維持管理に伴う電気使用量の節約に努め、壁泉カナルポンプ施設やサンクガーデン水盤のタイマー調整による施設運転の合理化や、施設の一部照明を節電消灯に取り組んだ。

▼ 環境配慮の推進

公園の維持管理に伴う環境負荷の軽減として、化学農薬を極力使わない植物管理、一般ごみの削減、再生紙の使用、園内植物残渣のリサイクル等、環境に配慮した公園管理運営を行った。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

▼ 統括責任者、統括責任者代理を配置した。
▼ 業務分担、指揮命令系統、連絡系統等を定めた。
▼ 臨時職員(維持管理12名、受付5名、パークゴルフ場受付18名)の採用を行った。
▼ 研修計画に基づき、職員研修(EMS研修、接客・サービス研修、普通応急手当講習、消防訓練等)を行った。

4月雇用時全スタッフに研修を実施し、平等かつ親切な対応を心がけ、アンケートでも満足度が高い結果を得られた。

情報発信の際にはユニバーサルデザインを考慮し「見やすい」「わかりやすい」表現を心がけた。
不正利用及び危険行為等への巡回指導や掲示物の設置、受付での丁寧な説明等に対応した。

電気使用量は、コロナ禍による壁泉噴水の稼働中止や合理的な園路灯タイマーの設定など、節電に努めた結果、前年比96.0%となった。
農薬については使用を極力抑制する方針で、本年度は使用はなかった。
トイレトーパーは道内市町村の古紙を原料としたものを導入したほか、植物残渣のリサイクルでは処理樹木をチップ化し園内へ還元したほか、伐採木を市民へ無料配布した。

必要な研修を実施し、利用者への適切な対応が行われている。
また、巡回指導や看板掲示などで利用者の利便性の向上に努めている。

様々な取組を行い、環境配慮に努めている。

スタッフ研修は計画どおり実施することができた。加えて、管理運営レベルの向上を目指しスタッフの資格取得に努めた。

適切に人員を配置し、維持管理を行っている。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

- ▼ 管理技術向上のため、業務に必要な資格取得をはじめ、安全作業手順、草刈・剪定など公園維持管理安全作業に係る実地研修等を実施した。
- ▼ 利用者アンケートの結果や受付窓口に寄せられた要望を元に利用者のニーズに対し迅速かつ柔軟に対応するよう努めた。
- ▼ 毎朝のブリーフィングで作業内容に合わせたKY活動を行い事故防止に努めるとともに、他公園等の事故報告・苦情要望事項を共有した。
- ▼ 全職員対象に普通応急手当講習Ⅰを実施し普通応急手当講習を実施した。
- ▼ 年2回の消防訓練を実施し、利用者の避難経路や手順を再確認した。
- ▼ 利用者サービス向上のため、園内植物(サクラ、フジ等)の開花情報をホームページやTwitterに掲載するとともに、開花エリアマップ、園内の野鳥一覧等のパネル掲示により情報提供に努めた。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

以下の業務について、第三者に委託し、管理・監督を適正に行い業務を遂行した。

- ①前田森林公園
 - ・管理事務所等機械警備業務
 - ・昇降機点検業務
 - ・管理事務所等消防設備点検業務
 - ・展望ラウンジ等自動ドア保守点検業務
 - ・展望ラウンジ・休憩舎他特別清掃業務
 - ・前田森林公園他受水槽清掃業務
 - ・灯油地下タンク漏洩検査業務
 - ・前田森林公園他遊具保守点検業務
 - ・前田森林公園除雪業務
 - ・自家用電気工作物保安管理業務
 - ・一般事業系廃棄物処理業務
 - ・カン・ビン等処理業務
 - ・産業廃棄物処理業務
 - ・トイレ維持管理業務
 - ・カラスの巣撤去及び子ガラスの保護業務
- ②山口緑地
 - ・管理棟等機械警備業務
 - ・管理棟消防用設備点検業務
 - ・自動ドア保守点検業務(管理棟、クラブハウス)
 - ・遊具保守点検業務
 - ・産業廃棄物処理業務
 - ・受水槽清掃等業務
- ③星置公園
 - ・遊具保守点検業務
 - ・トイレ維持管理業務
 - ・産業廃棄物処理業務
- ④明日風公園
 - ・遊具保守点検業務
 - ・産業廃棄物処理業務

緑地管理に有効な資格を積極的に取得させることにより作業技術の向上と効率化を図った。

安全管理については、安全衛生教育と毎日のKY活動によりスタッフの安全に対する意識及び技術の向上に努め、無事故で1年を終了できた。

利用者サービス向上に関しては、インターネット媒体を利用した公園情報の提供や案内板への掲出等、積極的な情報提供に努めた。

資格取得や情報の共有など、管理水準の維持向上に適切に取り組んでいる。

第三者への委託業務に関しては、全て札幌市内企業に委託し、適正に業務履行できた。

札幌市内の企業に委託するなど、適切に行われている。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
3月17日	前田森林公園他3公園・緑地の運営に関する札幌市への報告、協議 1. 管理業務の実施状況 2. 各有料施設の利用状況 3. 利用者からの意見・苦情等 4. 公園利用促進事業実績 5. 管理運営上の問題点、改善提案
<協議会メンバー> 札幌市手稲区土木部 事務係、公園緑化係 (株)スペースデザイン工業、マルミプラス(株)、(株)横山造園、(公財)札幌市公園緑化協会	

運営協議会では、管理運営の報告と施設等の修繕や改善について報告と提案を行った。

協議会での協議内容を参考にし、市民サービスや管理水準の向上に努めていただきたい。

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

- ▼資金管理については、指定管理業務や自主事業等、公園ごとに区分している。札幌市監査事務局による監査が行われたが、内部監査や経理事務担当者の随時確認により、指摘事項はなかった。
- ▼当協会の規定に基づき、現金や金券類、預金通帳等の施錠管理や帳簿類の内部監査を年2回実施しているほか、公認会計士2名による外部監査を導入している。
- ▼現金等の取扱いに関しては、現金取扱規定を整備しており、管理体制の強化及び不祥事防止の取組みを行っている。

札幌市の検査・監査には適切に対応できた。

適切に管理されている。

不正行為や事故発生の未然防止のため、複数名による現金等の確認を徹底した。

不正経理等はなく問題はない。

▽ 要望・苦情対応

- ▼ 要望・苦情の発生の都度スタッフに情報共有したうえで記録するとともに、他公園の要望・苦情も情報収集して回覧・情報共有することにより、同様の事例が発生しないよう努めている。

【苦情・要望等の件数】
前田森林公園 苦情3件
山口緑地 要望1件
星置公園 0件
明日風公園 要望1件

利用に関する苦情等は、看板の設置や増設等対応措置を要するものは可能な限り迅速に対応するとともに、申出者に対しては丁寧な説明・対応に努めた。

適切に対応できている。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)

- ▼ 主な記録は以下のとおり
巡視日報、EMS環境測定記録、EMS教育訓練記録、受水槽点検記録、作業機械点検簿、車両運転記録簿、遊具点検記録簿、防火点検記録簿、苦情等情報シート、収入日報、月報、四半期報告書、年報、現金出納帳他

- ▼ 展望ラウンジ・休憩舎・管理事務所横休憩スペースにアンケートボックスを設置してアンケート調査を実施した。

記録については適正に管理・保存・届出を行った。アンケート結果はスタッフ間で情報共有し、利用者ニーズの把握と管理運営の参考とした。札幌市の業務・財務検査には適切に対応した。

適切に管理されている。

(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む)		A B C D
	<p>▼ スタッフの雇用に関して、労働基準法、最低賃金法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、健康保険法・厚生年金保険法、雇用保険法、労働契約法、男女雇用機会均等法、次世代育成支援対策推進法、女性活躍推進法、育児休業・介護休業等に関する法律、労働保険の保険料の徴収等に関する法律、その他関連する法令等に基づき、主として以下のような届出・対応等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全てのスタッフに対し、北海道最低賃金889円(令和3年10月1日発効)以上の時給を支給した。 ・施設で働く職員に対し、時間外労働・休日労働及び深夜残業をさせた場合、それぞれ法定割合以上の割増賃金を支払った。 ・就業規則・要綱の改正を行い、札幌中央労働基準監督署に適切に届け出た。 ・全スタッフの就業時間や休日等について、労働基準法を遵守した。 ・スタッフに時間外労働又は休日労働をさせるにあたり、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、札幌中央労働基準監督署に届け出た。 ・全てのスタッフを労災保険適用とし、条件を満たすスタッフを雇用保険に加入させた。 ・労働保険料等算定基礎賃金等の報告を北海道労働局へ提出し、労働保険料を納付した。 ・スタッフの勤務形態、家族状況等に応じて健康保険・年金保険資格を取得するよう、適切に届け出を行った。 ・年1回の定期健康診断及びストレスチェックを実施した。 ・短時間雇用管理者を選任し、北海道労働局へ届け出た。 ・有期雇用契約者のうち、無期転換申込権が発生した者に対して周知し、希望の申し込みを随時受け付けた。 ・次世代法及び女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を公開・周知した。 ・女性活躍推進法に基づく認定制度「えるぼし」において、女性の活躍推進に関する状況等が優良な団体として「認定段階3」を受けたことを周知した。 ・安全衛生委員会を設置し、毎月1回、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、各公園の担当課長がリモートワーク等により出席して委員会を開催し、職場の安全確保及び健康障害の防止に係る議題について検討し、その結果を各公園・施設のマネージャーを通してスタッフに周知して、健全な職場環境の実現に努めた。 ・維持管理作業従事者を対象に、作業における安全確保や機械の取扱いに関する講習を実施した。 ・ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、育児休業等の取得奨励、職場内コミュニケーションの活性化、有給休暇取得の奨励、ノー残業デーの設定などの取組みを行った。 ・公的資格の取得支援、接遇や安全・技術等に関する内部研修の実施、優秀なスタッフや高年齢者の継続雇用など、雇用環境の整備により、市民サービスの向上等に結びつく取組みを行った。 ・第三者への委託業務について、受託者に当該業務従事者の労働環境に関わる情報提供を求めた。 	<p>指定管理施設の現場と本部事務局との連絡調整を密にするとともに、関係機関への必要な届出を迅速かつ確実に行うなど、労働関係法令を遵守し、すべての関係手続きについて適切に対応できた。</p> <p>労働災害発生ゼロを目指して、毎朝のKY活動、ヒヤリハット事例の共有、安全大会の開催(新型コロナウイルス感染拡大防止の為、各公園単位で開催)、安全講習の実施等に取り組んだ。</p> <p>事故が発生した際には、安全衛生委員会において、原因検証と再発防止の検討を実施した。</p> <p>安全な職場環境の実現と、スタッフの雇用環境の向上を進めるなかで、市民サービスの向上につなげることができた。</p>	<p>関係法令を遵守し適切に実施されている。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 正規職員を新たに雇用する際、現在の非正規職員から希望者を募り、内部登用試験を実施した結果、非正規職員1名を正規職員に転換した。 ▼ 当管理公園で労災事故の発生は無かった。 										
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>【利用者の安全確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 利用者の安全対策として、作業時にセーフティコーンや作業看板を設置して作業を行うとともに、園内の利用状況に応じて作業日時を調整し危険な場所に利用者が入らないよう努めるとともに、園内での作業時、利用者が立ち去るまで作業機械を停止し事故防止に努め、車両はハザード灯を点灯し、速度20km/h以下で走行した。 ▼ 強風に関し警報が発表された際はバリケードで園路を一部通行止めにし、利用者の安全を図った。 ▼ AEDを配置し、全スタッフ対象で普通応急手当講習Ⅰを受講した。 ▼ パークゴルフ場での事故防止のため、ネットの増設、注意喚起の園内放送を行った。 ▼ カラスの子育て時期には注意看板を設置、スズメバチは安全を確保した上で適宜直営で駆除したが、高所と樹木内営巣のものは委託業者に発注した。 ▼ 新型コロナウイルス感染拡大防止策として、利用者の安全と安心を最優先に、スタッフのマスク着用、手洗い、うがい、毎朝の検温を実施するとともに、施設の換気、不特定多数が接触する可能性のある箇所を定期的にアルコールで消毒した。施設及び園内には利用者用の消毒液設置、注意ポスター等掲示、施設の一部(ベンチ、テーブル等)の撤去等を実施した。 <p>【市民サービス向上への配慮】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 受付窓口やアンケートでいただいた要望等は迅速に対処した。 ▼ 拾得物取扱マニュアルを作成し、拾得物及び遺失物の情報を管理事務所内で共有し、遺失者・遺失物の早期発見に努めた。 ▼ コロナ禍における施設利用についての問い合わせが非常に多かったため、電話や受付窓口にて迅速な情報提供を丁寧に行うなどとともに、公式ホームページやTwitterなどのメディアを利用した告知、園内掲示板への情報掲示などの情報提供を積極的に行った。 ▼ 冬期は前田森林公園南側拡張区域駐車場で土日祝日開放のための除雪を実施し、ながめの丘(ソリ山)利用者への利便確保を図った。 <p>【連絡体制の確保、保険加入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 自然災害や事故等発生時に対応するため、緊急事態連絡体制を整えた。 ▼ 保険については計画書どおり、施設賠償責任保険、レクリエーション保険、家財保険、任意自動車保険、食品営業賠償保険に加入した。 	<p>利用者の安全対策は計画書のどおり実施し、園内作業に伴う利用者の事故及び管理瑕疵による事故の発生はなかった。利用者の転倒等の事故、体調不良による救急搬送等が起きた場合は迅速に対応することができた。今年度はコロナ禍により大型イベント(ふじまつり、パークゴルフ交流大会等)を中止し、感染拡大防止に努めた。施設内も利用者の滞留時間を制限するため一時的にベンチやアンケート台等の撤去、施設消毒等を行い感染拡大防止対策をした。</p> <p>市民サービス向上のため、受付窓口やアンケートでの要望・苦情に迅速に対応し、公園管理運営、利用者サービス向上を図ることができた。</p> <p>連絡体制の確保、保険加入(施設賠償保険等)は、計画どおり行った。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">A</th> <th style="width: 25%;">B</th> <th style="width: 25%;">C</th> <th style="width: 25%;">D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4" style="padding: 5px;">施設・設備等を適切に維持管理していた。イベントの中止など、新型コロナウイルスへの感染拡大防止対策も適切に行われている。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	施設・設備等を適切に維持管理していた。イベントの中止など、新型コロナウイルスへの感染拡大防止対策も適切に行われている。			
A	B	C	D								
施設・設備等を適切に維持管理していた。イベントの中止など、新型コロナウイルスへの感染拡大防止対策も適切に行われている。											

▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)

▼ 有料施設(野球場・球技場・テニスコート・パークゴルフ場)は、仕様書上4月20日から11月20日までの開放期間であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市からの指示に基づく途中3度の施設閉鎖措置期間を挟んで11月20日で施設開放を終了した。

▼ 清掃作業については仕様書に基づき実施した。

▼ カナールは春夏秋の年3回(市民協働)の清掃を行い、仕様書どおり管理を行った。

▼ 無料施設は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市からの指示に基づき途中3度の施設閉鎖措置を含め開放期間の変更を行った。

●前田森林公園

・今年度はバーベキュー広場の施設開放を見送り。

●山口緑地

・管理棟は施設閉鎖措置期間はトイレや窓口等の最低限の機能のみにとどめ、他エリアは施設閉鎖。

●明日風公園

・徒渉池は今年度は稼働中止、無料パークゴルフ場は施設閉鎖措置期間は開放を中止し、11月3日で開放を終了した。

▼ 公衆トイレは仕様書のとおり開放した。

▼ 展望ラウンジ2階の食堂売店は施設閉鎖措置期間はテイクアウトのみの営業とし、前田森林公園パークゴルフ場クラブハウスの食堂売店はバーベキュー広場の閉鎖等に伴い札幌市と協議の上、営業を取りやめた。

▼ 遊具他施設や設備保守点検を仕様書どおり実施した。

▼ 施設の点検等の業務は、必要に応じ専門業者へ委託し実施した。

▼ 施設・備品の故障・破損に対しては、内容に応じて直営・専門業者による修繕を実施し、施設利用に支障が出ないよう維持管理に努めた。

▼ 草刈は伸長状況を観察した刈込みにより効率的な管理に取り組んだ。

▼ パークゴルフ場の芝生管理は、緩効性肥料と刈草による窒素循環を組み合わせた芝生管理により、効率化・低コスト化、環境配慮型の維持管理を図った。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策で施設開放日や利用内容等の変更に伴い維持管理スケジュールを柔軟に調整し業務を遂行した。

カナールは計画どおり年3回の清掃を実施した。今年度はコロナ対策により春は職員のみでの清掃、ボランティア募集は夏・秋2回とし、市民と交流を図りつつ公園維持管理作業を協働で実施することができた。

修繕に関しては、早期対応に努めることで施設利用への支障を最低限に抑え、可能なものは直営で行い、修繕が困難な場合のみ専門業者に委託し、管理コストの削減を図ることができた。

緑地管理に関しては、生物多様性に配慮し野鳥の営巣地の草刈エリアについては、作業回数や時期を調整し管理に努めた。

各パークゴルフ場の芝生管理は、灌水を整備日及び閉場後、利用者に支障がないよう行った。

樹木管理については高所作業車を使用し、高木の枯損枝・危険枝処理を行ったほか、枯損木や危険木を適宜処理し利用者の安全に主眼を置いた樹林地管理を行った。札幌市貸与備品に関しては、随時台帳を整理した上で年1回の確認を行った。

利用者の安全確保に努めるなど、適切に維持管理が行われている。

	<p>▽ 防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 今年度の防災計画を策定し手稲消防署に届け出るともに、6月と11月に消防訓練を実施した。 ▼ 消防設備点検を専門業者に委託し年2回実施し、点検結果は手稲消防署に提出した。 ▼ AEDを配備するとともに、防災関連必要備品の常備、期限切れ等を確認し必要に応じて交換した。 ▼ 自然災害や事故等の発生時に対応するため、緊急事態連絡体制を整えた。 	<p>防災訓練及び消防設備点検を予定どおり実施した。</p>	<p>適切に取り組んでいる。</p>								
<p>(4)事業の計画・実施業務</p>	<p>▽ 近隣教育機関に関する学習機会の提供業務</p> <p>①前田森林公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 北海道札幌高等養護学校 <ul style="list-style-type: none"> ・1年生の職場研修受け入れ(12名) ・授業で制作した製品(磁器)販売の販路として当該公園売店を提供。作品は買い取り制で、生徒は授業の一環として検品・納品・事務所との金銭授受、不定期に製品の売れ行きを確認。 ▼ 北海道科学大学 未来デザイン学部 <ul style="list-style-type: none"> メディアデザイン学科の履修科目「クリエイティブディレクション」の「フィールドワーク」として、公園の歴史や利用状況、自然等についての参考資料を作成し、学生に4/19説明案内を行った。 <p>▽ 公園施設利用に関する市民の自主活動及び交流の支援業務</p> <p>①前田森林公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 前田森林公園凸凹クラブ <ul style="list-style-type: none"> ・トンカチ広場のための活動場所提供 ・自然観察会他活動紹介チラシの作成支援 ▼ 手稲プレーパークの会 <ul style="list-style-type: none"> ・プレーパーク活動場所の設定支援。 <p>②山口緑地</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 手稲区パークゴルフ協会 <ul style="list-style-type: none"> ・パークゴルフ場にて協会会員・同好会の交流大会(コロナで中止) <p>③明日風公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 明日風フィオーレ <ul style="list-style-type: none"> ・花壇管理ボランティアへの資材提供 <p>▽ 公園利用に関しての相談業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ カナールとポプラ並木の特徴的な景観から、個人やメディアによる写真や撮影のロケーションに利用されることが非常に多いため、利用目的を確認した上で撮影日時や車両進入の確認・調整などを行い、札幌市への報告等を適時行った。 ▼ 持込イベントの場合、申込時に園内の危険箇所や想定される事態の説明をし、安全対策がとれるようアドバイスを行った。 ▼ 冬期は近隣教育機関が園内のクロスカントリースキーコースを利用しスキー学習を行うため、公園利用届による日程確認やレンタルスキー数の相談に対応した。 	<p>例年受入れをしている教育機関のうち、公立小中学校の活動はコロナにより全て中止となったが、今年度も複数の教育機関と連携し必要な支援を行うことができた。</p> <p>コロナ禍により活動中止となった団体やイベントもあったが、再開した市民活動に対しては、資材の提供や活動場所の提供などの支援を行った。</p> <p>各種メディアへは問題なく対応できた。個人利用も利用前説明を徹底し、トラブルなく対処できた。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">A</th> <th style="width: 25%;">B</th> <th style="width: 25%;">C</th> <th style="width: 25%;">D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> <p>コロナ禍の影響もあり中止となったものがあつたが、教育機関、市民団体等と連携、支援が行われていた。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	<p>コロナ禍の影響もあり中止となったものがあつたが、教育機関、市民団体等と連携、支援が行われていた。</p>			
A	B	C	D								
<p>コロナ禍の影響もあり中止となったものがあつたが、教育機関、市民団体等と連携、支援が行われていた。</p>											

(5)施設利用に関する業務

▽ 利用件数等

		R2実績	R3計画	R3実績
① 前田森林公園 野球場	件数(件)	229	-	165
	人数(人)	-	-	-
	稼働率(%)	17.3	-	22.3
① 前田森林公園 球技場	件数(件)	109	-	107
	人数(人)	-	-	-
	稼働率(%)	14.1	-	25.2
① 前田森林公園 パークゴルフ場	件数(件)	-	-	-
	人数(人)	23358	-	15011
	稼働率(%)	-	-	-
② 山口緑地パーク ゴルフ場 西コース	件数(件)	-	-	-
	人数(人)	9391	-	6890
	稼働率(%)	-	-	-
② 山口緑地パーク ゴルフ場 東コース	件数(件)	-	-	-
	人数(人)	23406	-	13466
	稼働率(%)	-	-	-
③ 星置公園 野球場	件数(件)	126	-	83
	人数(人)	-	-	-
	稼働率(%)	14.5	-	14.2
③ 星置公園 庭球場	件数(件)	235	-	201
	人数(人)	-	-	-
	稼働率(%)	12.2	-	25.3
④ 明日風公園 庭球場	件数(件)	427	-	323
	人数(人)	-	-	-
	稼働率(%)	11.1	-	24.4

※稼働率は小数点第2位四捨五入

▽ 不承認 0件、取消し0件、減免 2,868件、還付95件

- ▼ 前田森林公園野球場 減免4件、還付36件
- ▼ 前田森林公園球技場 減免3件、還付1件
- ▼ 前田森林公園パークゴルフ場 減免1,346件
- ▼ 山口緑地西パークゴルフ場 減免509件
- ▼ 山口緑地東パークゴルフ場 減免985件
- ▼ 星置公園野球場 減免1件、還付25件
- ▼ 星置公園テニスコート 減免9件、還付27件
- ▼ 明日風公園テニスコート 減免11件、還付6件

野球場・球技場・テニスコート・パークゴルフ場は、仕様書上4月20日から11月20日までの開放期間であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市からの指示に基づく途中3度の施設閉鎖措置期間を挟んで11月20日で施設開放を終了した。施設閉鎖措置期間が公園のオンシーズンであることに加え大幅に利用日が減少したことや、開放期間中も利用者の自粛傾向から利用料金収入は大幅な減収となった。施設開放時には、コロナ対策に関する掲示物、屋内施設での食事禁止、長時間滞留を防止するため椅子・テーブルの一部撤去、アルコール消毒液、トイレ手洗い石鹸設置等を行い、利用者の感染防止対策に努めた。

A	B	C	D
新型コロナウイルスによる施設閉鎖の影響で利用件数は伸びなかったが、感染防止対策を行うなど適切な利用に努めている。			

	<p>▽ 利用促進の取組</p> <p>公園利用促進のために以下の取り組みを行った。</p> <p>▼ 前田森林公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーク・ラン・ラリーカードの配布 ・ウォーキング用キロ数記載のポール設置 ・カナル清掃時市民ボランティアの募集 ・ウォーキングコースと冬期スキーコースのキロ数記載の園内マップを作成・掲示・縮小版を配布 ・園内散策用自然情報の大型パネル作成・掲示 ・園内植物残渣を使用したクラフト講習会（クリスマスリース、ミニ門松づくり） ・クロスカントリースキーコース等の設営 ・スキーセット（通常・上位モデルの2種）貸出 ・クロスカントリースキー講習会開催（初心者～上級者） ・スノーラフティングの実施 <p>▼各野球場・球技場・テニスコート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの日利用料金無料 ・野球場のベースレンタル（無料） ・野球場・球技場のラインカーレンタル（無料） <p>▼各パークゴルフ場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・札幌市都市公園条例の使用料以外に自主事業により独自の料金（一日券、半日券）を設定 ・半日券団体割引の導入 ・子どもの日（5月5日）は中学生以下無料 ・スポーツの日は利用料金を無料 ・ファミリーパックの設定（保護者1名につき子ども1名無料） ・スタンプカードによる利用者還元と、札幌市に協議の上、押印ポイントを増加 ・クラブセット貸出（子どもは無料） <p>▼ 市民団体と共に体験型事業のトンカチ広場と自然観察会を開催</p>	<p>ウォーク・ラン・ラリーカードは実施から8年目となり、利用者からも好評で受付での押印が利用者との交流の機会となっている。</p> <p>パークゴルフ場は券種の設定等により、利便性の向上とニーズ対応を図り、リピーター確保に努めた。</p> <p>今後も利用者ニーズに対応したサービス提供や利用案内に努めたい。</p>	<p>様々な利用促進の取組が図られている。</p>								
(6)付随業務	<p>▽ 広報業務</p> <p>▼ 新型コロナウイルス感染防止対策に関する公園施設の対応を迅速かつ正確に利用者へ伝えることを目的として広報を行い、施設閉鎖情報や感染防止対策の発信、利用者の感染防止を考慮した取り組みに努めた。</p> <p>▼ インターネットを効果的に活用し、リアルタイムな情報発信に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公式ホームページ アクセス数は116,351件となり、前年度比97.4%の閲覧数となった。 ・メールフォームの活用 公式ホームページ内のメールフォームから来る問合せに即時に対応した。 ・Twitter ツールの特性を生かし、コロナによる施設開放状況や利用時のお願いをアップし、公園の管理運営への理解を深めていただくよう努めた。 <p>▼ 公園ホームページについてのウェブアクセシビリティ研修を担当職員対象に実施した。また取組確認・評価表を、令和4年3月28日に公開した。</p> <p>▽ 引継ぎ業務</p> <p>前回から継続指定を受けており、引継ぎ業務はない。</p>	<p>コロナ対策に関する問い合わせが多く、公式ホームページへの情報掲載のほか、リアルタイムで情報発信ができるツールとしてSNSを活用した。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">積極的にホームページ等の広報活動を行っている。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	積極的にホームページ等の広報活動を行っている。			
A	B	C	D								
積極的にホームページ等の広報活動を行っている。											

2 自主事業その他

▽ 自主事業		A	B	C	D				
<p>①前田森林公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 展望ラウンジ レストラン(委託) 収入159千円 ▼ パークゴルフ場 レストラン(委託)※コロナにより閉鎖 ▼ 自動販売機(委託) 収入1,689千円 ▼ 売店事業(管理事務所) 収入336千円 ▼ 売店事業(臨時) 収入105千円 ▼ コインロッカー 収入17千円 ▼ 売店事業(バーベキュー) ※コロナにより閉鎖 ▼ パークゴルフ貸しクラブ 収入104千円、利用者518人 ▼ 門松作り 収入20千円、参加者10人 ▼ リース作り 収入14千円、参加者20人 ▼ クロスカントリースキー初心者講習会 収入132千円、参加者71人 ▼ 歩くスキー簡単初心者講習会 収入35千円、参加者35人 ▼ 歩くスキー貸出 収入608千円、利用者1,989人 ▼ スノーラフティングボート 収入142千円、利用者283人 <p>②山口緑地西コース</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 自動販売機(委託) 収入25千円 ▼ パークゴルフ貸しクラブ 収入11千円、利用者54人 <p>③山口緑地東コース</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 自動販売機(委託) 収入276千円 ▼ パークゴルフ貸しクラブ 収入55千円、利用者274人 <p>④明日風公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 自動販売機(委託) 収入467千円 		<p>自主事業は、コロナ禍により「ふじまつり」や「パークゴルフ交流大会」等のイベントを中止としたほか、バーベキュー広場閉鎖のためパークゴルフ場売店でのバーベキュー関連商品販売と軽飲食提供の休止や、緊急事態宣言下には展望ラウンジ等の軽飲食もテイクアウト営業のみとしたため大幅な減収となった。感染防止対策を取りながら冬期事業を実施した結果、スキーレンタルとスノーラフティングは昨年同様好調であった。</p>				<p>夏期の自主事業が中止となったが、冬期は感染防止対策を取りながら実施したことは、利用者サービスに取り組んでいる</p>			
<p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 第三者への委託業務は、市内企業に発注した。 ▼ 物品調達の際は、市内企業から購入した。 ▼ 北海道札幌高等養護学校からの実習生を受け入れた。 ▼ 高齢者福祉施設の公園利用の際に、展望ラウンジ裏駐車場を開放した。また、体の不自由な方へは管理事務所駐車場をご利用いただき、車いすを貸し出した。 		<p>可能な限り積極的に市内企業の活用と福祉施策への配慮に取り組んだ。</p>				<p>適切な取組が行われている。</p>			

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果		A	B	C	D
実施方法	・アンケートボックスの設置	<p>今年度は新型コロナウイルスの感染防止対策に伴う施設の限定開放等もあって例年より回答数が少ない中ではあるが、公園の総合満足度、スタッフの接遇満足度共に札幌市の要求水準を上回り目標値も達成した。</p>			
結果概要	<p>上記アンケートの集計結果(回答者74人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 公園の総合満足度:85.2% (札幌市の要求水準70%・当該公園の目標75%を達成するとともに前年度を上回った) ▼ スタッフの接遇に関する満足度:85.7% (札幌市の要求水準80%・当該公園の目標85%を達成しに前年度とほぼ同じであった。) ▼ 回答者属性 8割が札幌市内在住で、男女比は男性が5割、65歳以上が46.6%と最も多かった。 				

	<p>▼ 公園利用頻度</p> <p>「週1回以上」が最も多く24.0%で、次に「月1～2回程度」が20.2%となり、リピーターの意見が多い結果となった。</p> <p>▼ 情報を得る手段</p> <p>「知人・友人から聞いて」が24.5%と利用者からの口コミで来園される方が最も多かった。次いで「その他」が22.1%となり、次いで「公式ホームページ」10.6%となった。</p>		
利用者からの意見・要望とその対応	<p>【称賛】</p> <p><公園について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・草刈りなど園内がキレイに管理されている。 ・静かで、非日常が味わいました。 ・手稲に住んでこんな素晴らしいところがあるなんて驚きました。 ・庭園風で規模も大きく美しい景色に感動しました。 ・緑がすごくキレイです。 <p><スタッフについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなやさしい。親切、丁寧 ・講習会参加時に丁寧に教えていただき、楽しかった。 ・利用者への配慮が良いです。対応が良い ・話しやすい。 <p>【要望1】</p> <p>犬のマナーを守らせてほしい。</p> <p>【対応1】</p> <p>注意看板の設置、巡回時の声かけ、園内放送等を行っているが改善されないため、継続して注意喚起を行っていく。</p> <p>【要望2】</p> <p>タバコの吸う場所を減らすか撤去して完全禁止してもらいたい。時代遅れの感じがする。</p> <p>【対応2】</p> <p>今現在、喫煙場所は管理事務所休憩所横の1か所のみで、完全に喫煙場所を撤去した場合、ポイ捨てが多く発生する恐れがあるため、次年度についても現状を維持する。</p> <p>【要望3】</p> <p>おまつりとかイベント、出店やミニコンサートの開催</p> <p>【対応3】</p> <p>例年、当公園で開催している「ふじまつり」が今年度もコロナの影響によって中止となった影響を受け、イベントの開催の要望が多数寄せられた。次年度はコロナウィルスの経過を観察しながら考慮したい。</p>	寄せられたご意見では、園内管理への評価や、スタッフの接遇にある程度満足であることが窺えたが、苦情・要望では、利用者のマナーに関するものが例年どおり多く、園内放送の活用や看板の設置、巡回時の声かけ等の対応を粘り強く継続していきたい。	

4 収支状況

▽ 収支 (千円)

項目	R3年度計画	R3年度決算	差(決算-計画)
収入	124,420	125,687	1,267
指定管理業務収入	120,795	120,129	▲ 666
指定管理費	95,639	106,259	10,620
利用料金	25,156	13,023	▲ 12,133
その他	0	847	847
自主事業収入	3,625	5,558	1,933
支出	124,420	132,221	7,801
指定管理業務支出	123,454	128,589	5,135
自主事業支出	966	3,632	2,666
収入-支出	0	▲ 6,534	▲ 6,534
利益還元	0	0	0
法人税等	0	345	345
純利益	0	▲ 6,879	▲ 6,879

▽ 説明

- ▼ 指定管理費収入は「札幌市都市公園の維持管理に関する協定書の改定協定書(第2回)」による371千円の減額、「札幌市都市公園の維持管理に関する協定における新型コロナウイルス感染症対策に関する確認書」による10,991千円の増額があり、結果として10,620千円の増となった。
- ▼ 利用料金収入は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月3日から7月11日、8月30日から9月30日の期間に有料施設を閉鎖したこと、その後もコロナ禍の影響により施設利用が低調となったため、計画より12,133千円の減となった。
- ▼ 自主事業収入は、冬季レンタル事業に力を入れたことで、計画より2,666千円の増となった。
- ▼ その他収入は、雇用調整助成金などである。
- ▼ 指定管理業務支出は、コロナ対策の衛生用品等の消耗品購入や、人員体制強化のため課長職、所長職の配置、6月下旬から9月上旬までの記録的猛暑に伴うパークゴルフ場への灌水量の増大に伴う光熱水費の増加、修繕不能となった作業機械更新や経年劣化した施設修繕の増加等の影響もあり、その他の経費削減に努めたが、計画より5,135千円の増となった。
- ▼ 自主事業支出は、消耗品購入や備品更新、商品仕入れ等のため、計画より2,666千円の増となった。
- ▼ 利益還元については、マイナスの収支であるものの、札幌市所管備品であるトラクターの緊急修繕を418千円で行った他、公益法人の特質上、収益の約半分を繰り入れている。

利用料金収入について、新型コロナウイルスの影響が大きく、施設閉鎖やパークゴルフ場利用層の高齢者による利用を控える行動などから大幅な減収となった。自主事業収入は、バーベキュー広場の年度内閉鎖、6月の大型イベント中止などでBBQ関連商品の売上やイベント収入が無くなったが、スキーレンタル備品更新がサービス向上及び集客につながり増収となった。今後においては、自主事業への投資を回収するとともに、引き続き収支改善を図れるよう各施設の良好な維持管理、利用者が安心できるコロナ対策等を含め、サービス向上を行う。

A	B	C	D
<p>新型コロナの影響が大きく収支に関係しているが、今後も引き続き経費削減に努め、コロナ対策を考えた自主事業を行っていただきたい。</p>			

＜確認項目＞ ※評価項目ではありません。		
▽ 安定経営能力の維持 ▼ 当コンソーシアムの代表団体である札幌市公園緑化協会の財務状況等は、令和3年度、赤字決算になる見込みはなく、運営安定化積立資産の留保金もあるため、安定経営能力に問題はない。また、他の構成企業についても前年度から大きな変化はなく、安定経営能力に問題はない。		適 不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 ▼ 各条例の規定に則り、全て適切に対応した。 ▼ 情報公開請求はなかった。 ▼ 当公園の管理等に係るオンブズマンの現地調査はなかった。 ▼ 公園使用者に対する告知として、暴力団活動や暴力団の資金源となる活動に公園を使用できない旨の文書を園内に掲示した。 ▼ 物品購入や業務の委託等に際して、暴力団員や暴力団関係事業者を相手方としないよう徹底した。		適 不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>前田森林公園・山口緑地・星置公園・明日風公園の管理運営に関しては、新型コロナウイルスの影響で施設閉鎖や利用制限、消毒体制の確立などの対応が多々あったが感染者も出ず、また管理作業においても事故もなく安全に管理運営をすることができた。</p> <p>新型コロナウイルス対策により有料運動施設は閉鎖期間が3度あり利用者減となったが、閉鎖期間中も野球場やテニスコート整備、パークゴルフ場の芝生補修や目土・灌水等のメンテナンス作業を行い、コンディションの維持・向上に努めた。</p> <p>自主事業は、コロナ禍によるイベントの中止や施設の閉鎖や自粛等も重なって前年度より減収となったが、冬期事業ではクロスカントリースキー利用者のニーズに合わせたコース整備や用具貸出が堅調であった。</p> <p>前田森林公園凸凹クラブ、明日風フィオーレなど、市民協働の取組みを継続して実施でき、また前田森林公園クリーンボランティアの活動も定着した。コロナ禍による活動自粛の中で、感染拡大防止対策に留意しながら市民団体への継続的な活動の支援、良好な関係を維持できた。</p> <p>緑地管理では、野鳥の森を中心に草刈方法や作業区域の見直し等を行い、自然環境の保全と管理との調和を図った結果、昆虫や野鳥等の生物多様性に配慮した環境づくりを進めている。</p> <p>樹木管理では、今年度もテッポウムシの被害の目立つ危険木・枯損木の整理、高所作業車を使用している高木（シラカバやネグンドカエデ）の整枝剪定、花木園の花木類の剪定、つどいの森の梅の剪定、フジの剪定等を実施し、利用者の安全と景観の維持向上を図ることができた。</p> <p>公園施設全体として良好な景観の維持管理に努め、アンケートでは管理に対する称賛や励ましの言葉を多くいただくことができた。</p>	<p>利用者の安心・安全を重視した公園管理に努め、無事故を目標に安全管理の向上を図りたい。</p> <p>利用料金収入については、パークゴルフ場芝生のコンディション維持に努めるとともに、野球場・球技場やテニスコートにおいても備品更新や施設修繕などプレー環境の向上への取り組みを継続的に実施していきたい。</p> <p>次年度はコロナ禍の感染動向に対応した自主事業の実施内容の検討や、利用者ニーズに対応した事業を実施に取り組み、事業の再構築を図りたい。</p> <p>コロナ禍にあつて、市民活動の支援方法や良好な関係の維持、事業のレベルアップを図れるよう努めたい。</p> <p>芝生広場等のレクリエーション用途の一定の維持管理作業を要する草地と、昆虫や野鳥等の野生生物の多様性に配慮した樹林地の草地管理等、適正な草刈方法や作業区域の見直しを適宜行い、良好な緑地維持管理に努めたい。</p> <p>また前田森林公園のシンボルであるポプラ並木や、その他多種多様な樹林帯の枯損木整理を中心とした樹林管理を継続し、利用者にとって安全な公園環境の造成と景観の維持に努めたい。</p>
【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>コロナ禍の影響も少しずつ収まりつつあるが、感染対策を行いながら利用者の利便性向上に努めている。今後も利用者サービスの向上、適切な維持管理を期待します。</p>	<p>上記に記載した所管局評価を参照してください。</p>